

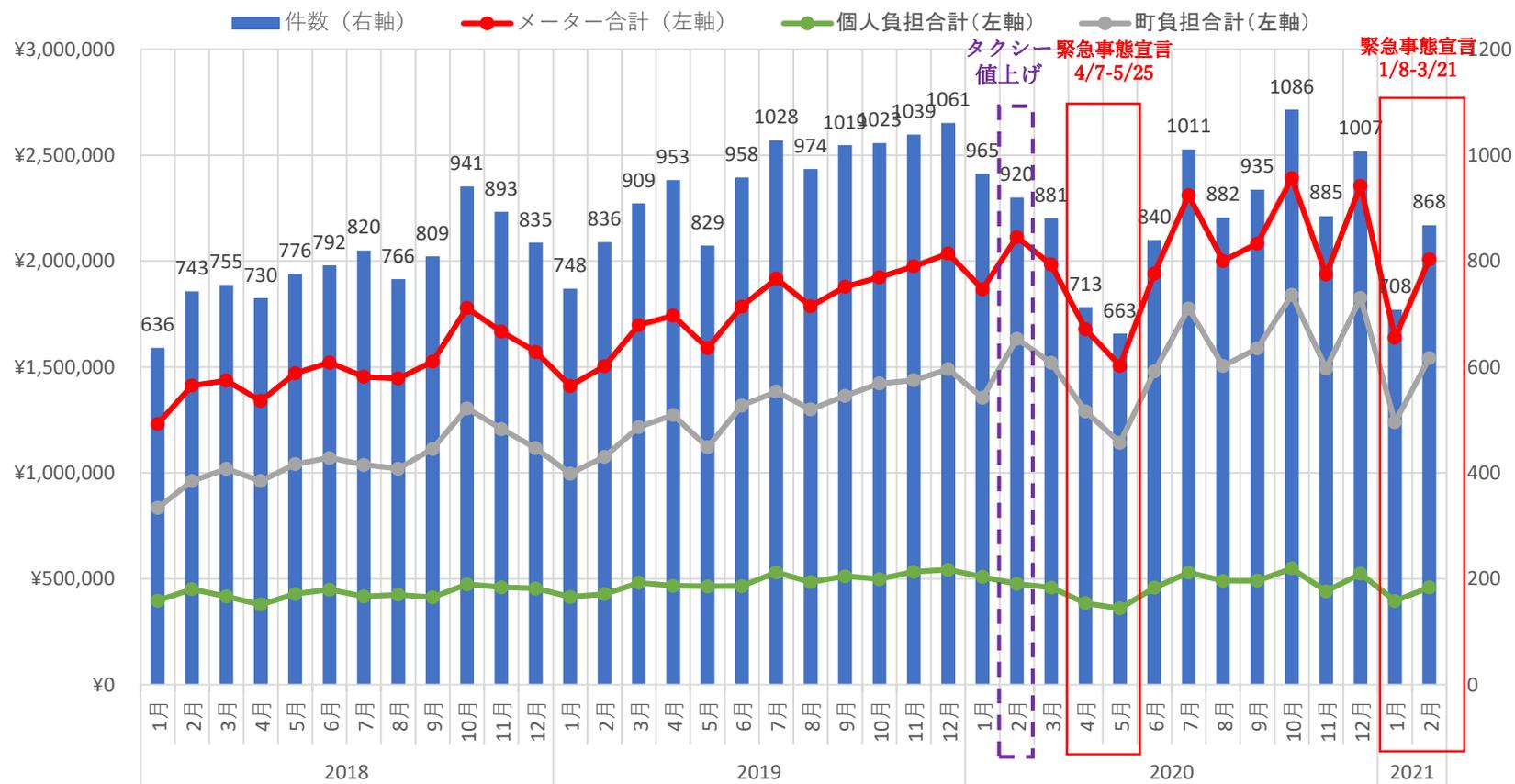
# かわみんタクシー見直し まとめ

2021年4月21日

川島町地域公共交通会議

(2021.04.13版Rev2)

# 利用件数・メータ料金・個人負担・町負担



# 主なデータ

項目	内容	補足
集計期間	2018年1月1日～2021年2月28日	3年2ヶ月間
運行日数	922日	
運行件数	33,237回	
利用人数	40,101人	
日平均運行件数	36回/日	
日平均利用人数	43.5人/日	
平均利用人数	1.2人/回	利用時の平均人数
一人乗車・二人乗車の割合	一人) 82%、 二人) 16%	27,114回、5,390回
平均メーター料金	2013円	
町内割引利用の割引	全件の74%	自己負担300円
利用が多い町内割引の種類	高齢割引 (全件の70%)	75歳以上
町内・町外の利用割合	町内) 82.7%、 町外) 17.3%	
会員数 (登録数)	3,135人	欠番有り
利用ゼロ回の会員数	1,893人	会員数の60%
利用100回以上の会員数	81人	会員数の3%

# 利用実態の特性

件数	割引無し	割引有り
町内 利用	3,468件 12%	21,151件 71%
町外 利用	4,390件 15%	760件 3%

## 利用者の負担率

□ 平均27%（最小5%）

- ✓ 町内利用者 割引無し 平均29%
- ✓ **町内利用者 割引有り 平均20%**
- ✓ 町外利用者 割引無し 平均53%
- ✓ 町外利用者 割引有り 平均44%

**町内・割引有が多数（71%）で、利用時負担が少ない（20%）**

# 検討経緯

- 2020年10,11月 かわみんタクシー利用者ヒアリング調査
  - 運賃の自己負担について：安すぎる、ある程度の負担はやむを得ない、500円でも安い、税金で負担してもらっている意識  
⇒**値上げ（自己負担増）の許容・容認**
  - 運賃制度について：安すぎる、町外の埼玉医大と康成会で同じ料金はよくない差をつけるべき  
⇒**利用者負担の区別（距離別）の導入**
- 2020年12月17日 第一回分科会
  - かわみんタクシーの見直しに係る分析結果確認、運行メニューの議論
  - ①全体的な値上げ（利用者負担の見直し）
  - ②距離による負担区分の設定
- 2021年1月14日 第二回分科会
  - 町負担とのバランスを検討するためシミュレーションを実施
  - 利用者の経済的負担を単純に増やすだけでなく、利用方法の見直しによる負担減を同時に目指す

# 検討経緯（続き）

- 2021年1月21日 運行事業者の現地確認
  - かわみんタクシー運行事業としてのコロナ対策、運行管理状況を確認
- 2021年1月22日 第三回分科会
  - 見直しを契機に、要望が寄せられる指定町外病院の追加について検討
  - 受診実績等を基に追加される指定病院を選定
- 2021年2月18日 協議会
  - これまでの検討結果に基づいた議論から、以下を決定
    - ①運行内容見直し
    - ②指定病院追加
    - ③利便維持と理解を得るために

# ①運行内容の見直し

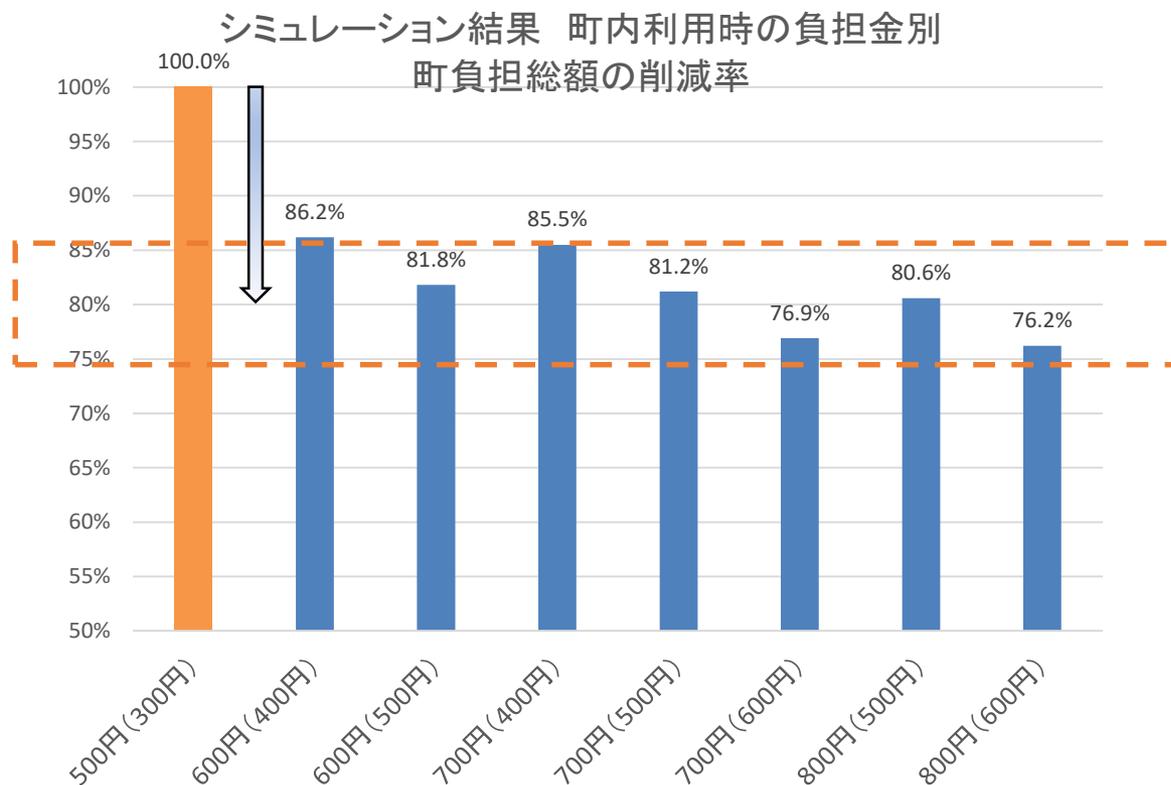
- 町負担金額固定は採用しない
  - 町負担削減効果は最も大きいですが、同時に利用者負担も大きく増加させるため
- 利用者負担を見直す
  - 提供サービスに対する受益者負担の考え方
- 距離別の利用者負担を設定
  - メータ料金で2つに区分して、距離に応じた利用者負担を設定する（長距離利用に対する受益者負担）
- 町内利用時の割引の見直し（+町外利用）
  - 割引率の見直し →町負担とのバランスを検討
  - シンプルな金額設定 →利用者にとってわかりやすい金額

# シミュレーションによる検討

町負担総額の削減率を確認

町内利用時の利用者負担金額を変化、現状利用を仮定

現在の80%（20%減）を目安とする



※町内の利用者負担金（割引時金額）で計算

※町外は、2000円（1800円）、メータ5000円以上は3000円（2700円）固定

# 運行内容見直しと町負担率（予測）

	現行 (件数) %	基本的値上げ (件数)	町内：2500円以上 町外：5000円以上 (内件数) %
町内	500円 (3468)12%	700円 (3468)	1,000円 (687)20%
町内（割引）	300円 (21151)71%	500円 (21151)	700円 (2503)12%
町外	1,500円 (4390)15%	2,000円 (4390)	3,000円 (120)3%
町外（障がい割引）	1,350円 (760)3%	1,800円 (760)	2,700円 (25)3%
合計	(29769)100%	(29769)	(3335)11%
町負担金額(830日間) 削減率	¥43,168,990	→	¥35,052,270 81.2%

最も利用が多い「町内・割引」の利用者がワンコイン(500円)！

約20%の町負担額の削減  
当面の間、かわみんタクシーが持続可能な移動支援施策へ

## ②指定病院追加

	条件	追加指定病院
①	当町に隣接した自治体に所在 ※役場庁舎から7km圏内を条件としない。	<b>東松山市民病院</b> (東松山市)  <b>北里大学メディカルセンター</b> (北本市)
②	令和元年度レセプト件数上位20位内にある総合病院	
③	①及び②に合致する病院が複数ある場合、レセプト件数が最上位の総合病院	
1	令和元年度妊婦健診等の利用者数が最上位の病院	<b>愛和病院</b> (川越市)

# ③利便維持と理解を得るために

今回の利用料金の値上げ⇒利便の低下、利用数減少、無理解の懸念



- ① 「乗り合わせルール」の見直し  
⇒複数人利用を促進し、利用一人当たりの負担を軽減
  - 行き・帰り、家族・知人と乗り合わせて利用可
  - 利用料金は一人（登録者）が支払う。あとは利用者同士で割り勘にしても、誰か一人が負担してもよい（通常のタクシー利用と同様）
- ② 利用可能な町外病院の見直し  
⇒3つの病院が追加され、さらに便利に
  - 東松山市民病院、北里大学メディカルセンター、愛和病院



これらの見直しについても同時に実施

⇒値上げだけでなく「便利になった使い方」の周知が重要

- 利用パンフ、Q&A等の更新、具体的な利用例の提示、キャンペーン、MM例）「いっしょに帰ろう、かわみんタクシー」
- 町広報、主要な施設（公的施設、民間、学校等）や、バス車内での周知広報
- 町WEBサイトの充実、SNSの活用